

ア
児童の状況

自己評価Aと外部評価の評価区分	きわめて良好	自己評価Bの評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

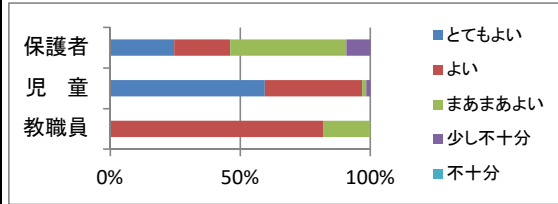
I 自主的・自律的な生活

評価項目	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
基本的な生活習慣を身に付け、主体性や責任感をはぐくもうとしている。	前期 良好		
と自己評価の改善の概要	後期		【前期(→後期)】「挨拶」については、挨拶リーダーや運営委員会によるあいさつ運動の成果もあり、進んで気持ちのよい挨拶をする児童が多く見られている。東館小のよさとして、つないでいきたい。「規律ある生活」では、集会時の話の聞き方や活動の始めと終わりの挨拶が、きちんとできていない場面が見られた。2学期は、準備を整えてしっかり話を聞くこと、きちんとできていない時はOKを出さない、など全職員と児童で意識を統一して取り組んでいく。 【後期(一次年度)】

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	後期
1 基本的な生活習慣	(1)生活習慣の定着	あいさつ運動の推進 時と場に応じた言葉遣いの指導	4	
	(2)規律ある落ち着いた生活	校内のルール・マナーの指導	3	
2 自主的・実践的な態度	(3)自分の考えを生かした活動	係活動・委員会活動の推進	4	
	(4)集団の一員としての活動	学級会活動・クラブ活動の推進	4	

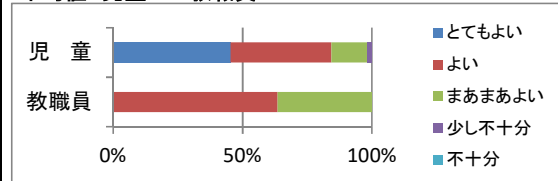
【評価指標1】

(1)元気なあいさつと正しい言葉遣い
平均値 保護者3.4 児童4.5 教職員3.8



4月に、駐在所の方やスクールガードリーダーに協力していただき、「交通安全教室」を行いました。1～3年は、信号機のない横断歩道を渡る練習、4～6年生は学校の周りの道路を使って自転車の乗り方教室を行いました。良かったところ、注意してほしいところを教えていただき、交通安全に対する意識を高めました。

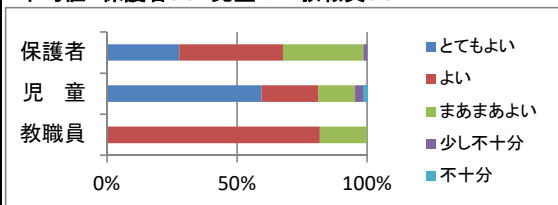
(2)規律ある落ち着いた生活
平均値 児童4.2 教職員3.6



5月は、元気な挨拶が響く東館小を目指して挨拶運動に取り組みました。今年度は、日替わりで「挨拶リーダー」の学年を決めて取り組んだところ、子どもたちも張り切って挨拶をする様子が見られました。

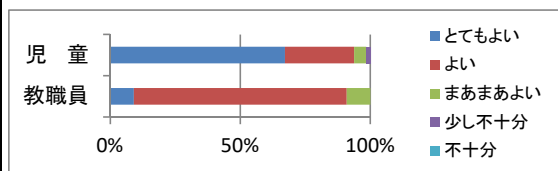
【評価指標2】

(3)自分の考えを生かした活動
平均値 保護者3.9 児童4.4 教職員3.5



児童集会では、各委員会がそれぞれ全校のみんなに伝えたいことをそれぞれ創意工夫して発表しています。1学期は、運営委員会が「元気な挨拶」、放送委員会は「放送委員会の仕事」について、寸劇やクイズを交えて発表しました。今後も、子どもたちの考えやアイデアを生かした集会ができるよう、職員間で共通理解をしました。

(4)集団の一員としての活動
平均値 児童4.6 教職員3.7



ア 児童の状況

Ⅱ 思いやりの心 たくましい心

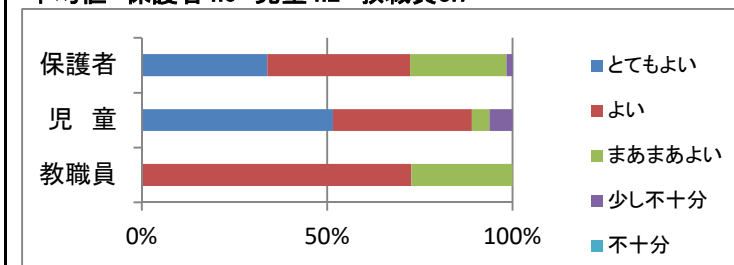
評価項目	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
互いを認め合い、高め合いながら、学校生活を送り、豊かな人間性をはぐくもうとしている。	前期	おおむね良好	
	後期		
善要自 策と己 学評 校価 のの 改概	【前期(→後期)】 感染症予防のため、異学年交流がなかなか実施しにくい状況ではあるが、工夫を凝らして友達や他学年との交流機会を設定し、思いやりや助け合いの気持ちを育てていきたい。また、2学期は児童の頑張りを称揚する機会の設定、「キラッとさん」の紹介など、互いを認め合う場を工夫して実践していくことを職員間で共通理解した。 【後期(→次年度)】		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	後期
3 豊かな心と向上心	(5) 相手を思いやり助け合う心	特別の教科道徳の充実 異学年交流	4	
	(6) 自分を高めようとする意欲	目標達成に向けた取組 一人一人の活躍と称揚の場の設定	3	
4 集団生活・集団行動	(7) 互いを認め合い自己有用感のもてる学級	互いのよさを認め合う場の設定	4	

[評価指標3]

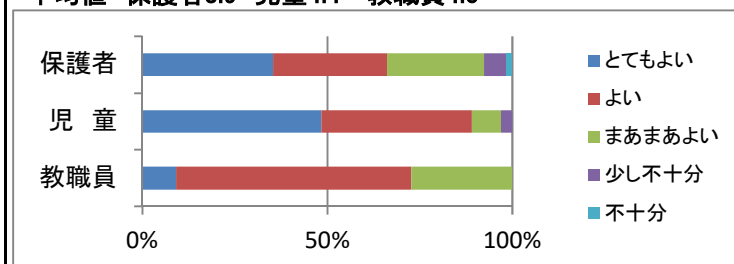
(5) 相手を思いやり助け合う心

平均値 保護者4.0 児童4.2 教職員3.7



(6) 自分を高めようとする意欲

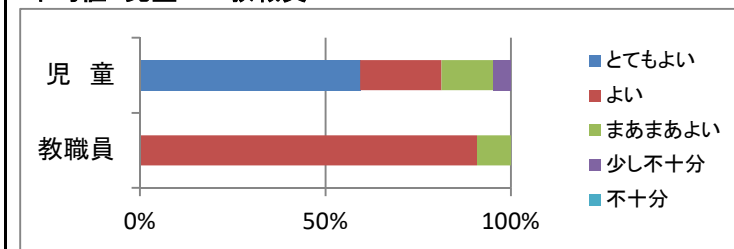
平均値 保護者3.9 児童4.4 教職員4.0



[評価指標4]

(7) 互いを認め合い自己有用感のもてる学級

平均値 児童4.4 教職員3.8



9月には、児童会行事「東小っ子フェスティバル」を行いました。それぞれ自分の係の仕事や準備に責任をもって取り組み、全校児童みんなで楽しむことができました。遊ぶ時には縦割り班のメンバーで活動し、お互いに励まし合ったり協力したりする姿がたくさん見られました。

挨拶運動のリボンでの奨励



ハッピーフラワー運動

1学期に行った挨拶運動では、振り返りカードで自分の頑張りをチェックしました。運営委員会が廊下の掲示にリボンを貼ってみんなの頑張りを賞賛しました。また、「ハッピーフラワー運動」を今年も継続しています。友達によさや頑張りを認め合える環境作りを今後も工夫していきたいと考えています。

ア 児童の状況

Ⅲ 健康と体力

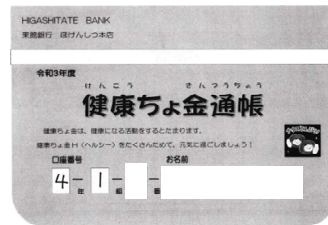
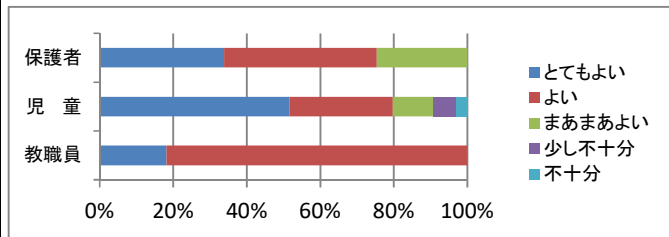
評価項目	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
食や運動を通して健康や体力への関心をもち、進んで健康な体づくりに取り組もうとしている。	前期 良好		
後期			
学自己の改善の概要と	【前期(→後期)】健康な生活習慣の定着では、生活習慣とメディアに関する実態調査の実施や、1学期中に手あらい指導とはみがき指導を実施してきたことなどから数値が上がったと思われる。また、望ましい食習慣の形成については、栄養教諭と連携した食育指導を継続していきたい。体力と運動能力の向上については、運動会や体力テストの実施など、昨年度よりも運動に親しむ環境が増えているため、結果を活用しながら、楽しんで体力アップできるような環境づくりを行っていく。健康ちよ金通帳は、保健活動だけでなく、食育や体力アップについても取り入れて、1年間を通じた継続的な指導を行い、健康力アップにつなげていく。		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	後期
5 保健・食育の状況	(8)健康な生活習慣の定着	保健指導の充実 家庭への啓発活動 健康な生活習慣アンケート	4	
	(9)望ましい食習慣の形成	給食指導を通じた食育 家庭への啓発活動 栄養教諭との連携	4	
6 体力づくり	(10)体力と運動能力の向上	体育の授業の充実 体力テストの活用 外遊びや運動の奨励 体育環境づくりと整備	4	

[評価指標5]

(8)健康な生活習慣の定着

平均値 保護者4.1 児童4.2 教職員4.2



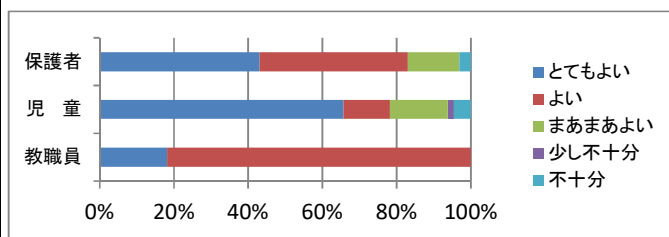
健康ちよ金通帳

健康になる活動をするヘルシーポイントが貯まる通帳。体力アップに関することや、委員会の取組についても対象とし、継続的な取組にしておく。

月	とびこんだこと	今回の健康ちよ金	健康ちよ金合計
5月	陸上がんばりカード	3 0 0	3 0 0
5月	手あらい指導	1 0 0	4 0 0
6月	はみがき指導	1 0 0	5 0 0
6月	ONEONEカード	6 0 0	11 0 0

(9)望ましい食習慣の形成

平均値 保護者4.2 児童4.3 教職員4.2



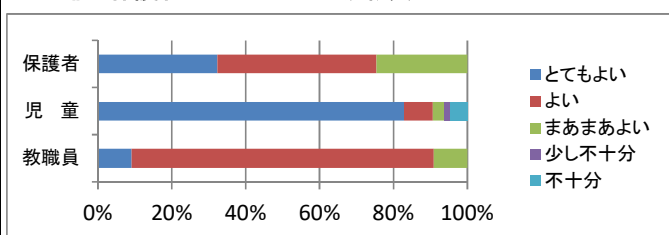
手あらい指導(5月)

例年、11月に実施している養護教諭による手あらい指導を5月に実施。感染症予防への意識を高めるために早めに実施した。
※1年生の様子

[評価指標6]

(10)体力と運動能力の向上

平均値 保護者4.1 児童4.6 教職員4.0



栄養教諭による食育指導

栄養教諭と連携した食育指導。全学年への指導と、給食時には紙芝居などの指導を実施した。(2年:やさいのひみつをさがろう)



新体力テスト(6月)

縦割り班や学年ごとの練習を経て、全校新体力テストを実施した。
※上体起こしの様子



外遊びの推奨

滑り台が設置されたため、外遊びや遊具を使った遊びの推奨を行い、体力アップにつなげていく。

ア 児童の状況

IV 基礎学力

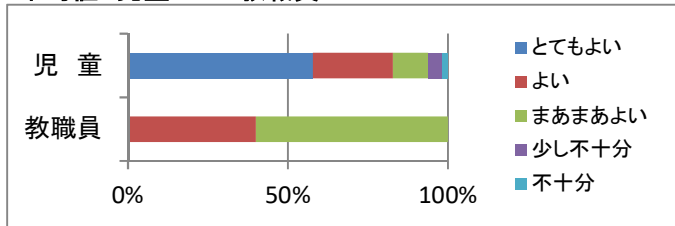
児童生徒の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
基本的な学習習慣を身に付け、意欲的に学習に取り組む、学力を向上させようとしている。	前期	おおむね良好	
	後期		
と自己校評の価改の善概要	<p>【前期(→後期)】子どもたちの評価は高く、意欲的に頑張っている。ここ数年、話すことに力をいれて取り組み、少しずつ力を伸ばしている。しかし、「話を聞く」態度・姿勢については、まだまだである。そのことが、自己評価のポイントを下げている。そこで、今後は、基本的な学習習慣の定着の「話を聞く」ことに力を入れ、取り組んでいきたい。話を聞くことに対しては、教職員で足並みをそろえ、同じ指導で進め、力を伸ばしていこうと思う。また、基礎学力の向上をするために、授業力向上に取り組むたい。授業を見合うアクティブツアーを実践し、学び合う機会を増やしたい。</p> <p>【後期(→次年度)】</p>		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	後期
7 学習への取組	(11) 基本的学習習慣の定着	聞き方・話し方指導の徹底 「学習の7か条」の徹底 ハンドサインの活用 ノートの使い方指導 家庭学習の励行	3	
	(12) 基礎学力の定着	学習が定着する授業の構築 パワーアップタイム 東小っ子テスト	3	
	(13) 主体的な学習態度	学び合いの場の確保 学習課題の吟味 指導方法の工夫	3	
8 諸検査の状況	(14) 学習状況調査・学力検査等の結果の改善	実態把握と課題分析 回復指導の実施 →新型コロナ禍のため、諸調査・検査が実施できず	3	

[評価指標7]

(11) 基本的学習習慣の定着

平均値 児童4.3 教職員3.4



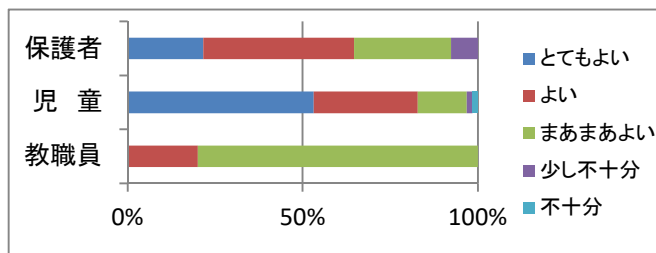
さくらんぼタイム (高学年)
運動会の遊競技についての話し合い意見を出し合います。



夏休みの作品紹介
お互いの学年に質問や感想を伝え合います。

(12) 基礎学力の定着

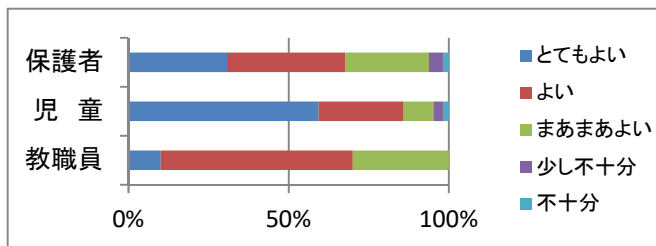
平均値 保護者3.8 児童4.3 教職員3.2



ひとばんマスターの表彰
家での学習意欲につなげるために、一人勉強ノートががんばったお友達を表彰したり、ノートを展示した

(13) 主体的な学習態度

平均値 保護者3.9 児童4.4 教職員3.8



【今年度の研究】

- 研究主題
『主体的に学び、共に高め合う子どもの育成』
～「数学的な見方・考え方を働かせた、深まりのある授業」を目指して～
- 研究の重点
①「秋田型の探究型授業」を基に、数学的な見方や考え方を働かせた児童の姿を明確にした授業作りを行い、基礎的・基本的な知識技能を身に付けさせる。
②学びを深める発問や支援を工夫したアクティブタイムを行うことにより、対話的に学び合い、課題を解決していく力を育てる。

ア 児童の状況

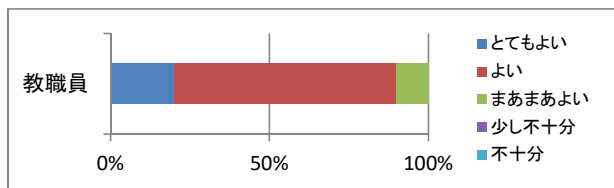
V 組織運営

児童生徒の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
重点目標の具現化に向けて、特色ある学校づくりが、計画的・組織的に推進されている。	前期	おおむね良好	
	年度		
校自己評価改善策の概要と学	【前期(→後期)】 各指導部の取組及び授業改善と指導力の向上は3点台後半の評価で、後期に向け改善策を講じなければならないと考える。指導部の取組については、過去の施策にとられず、児童の実態に応じた柔軟な発想が必要である。それと同時に、教職員の減少が避けられない状況の中で、日常の取組で気付いたことをすぐに声に出し合い、改善に向けて手を打つ体制にしていかなければならないと考える。(18) 授業改善と指導力の向上については、今年度から取り組んでいる「アクティブツアー」に「自分だったらどう指導するか」を一人一人が意識しながら積極的に参加することで、より効果的な研修とすることができるのではないかと考える。		
	【後期(→次年度)】		

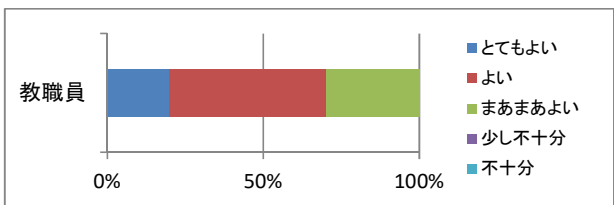
評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	後期
9 教職員の学校運営参画	(15)経営方針や重点目標・施策の共通理解	実態把握による重点施策(東館3つのH)の設定と明示	4	
	(16)各指導部の運営と実践	「東館3つのH」の施策の提案 組織的な取組の実践	3	
10 教育課程の編成と実施	(17)特色ある教育課程	ふるさとキャリア教育の推進 円滑な教育課程の実施	4	
11 職員研修	(18)授業改善と指導力の向上	研究テーマに基づいた授業実践 授業研究会の充実 各種研修会への参加	3	

[評価指標9]

(15)経営方針や重点目標・施策の共通理解
 平均値 教職員4.1

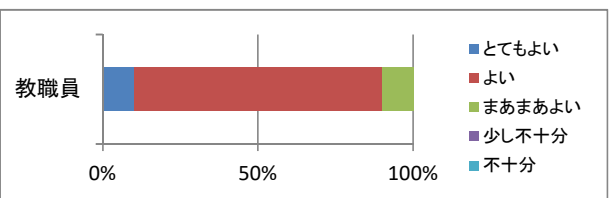


(16)各指導部の運営と実践
 平均値 教職員3.9



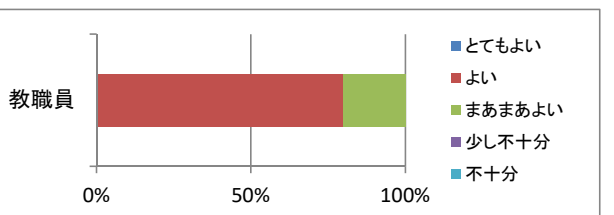
[評価指標10]

(17)特色ある教育課程
 平均値 教職員4.0



[評価指標11]

(18)授業改善と指導力の向上
 平均値 教職員3.8



**☆「東館3つのH」の施策の提案・実践
 4月 学習習慣を身に付けよう(学習指導部)**

東小つ子の約束 チェックシート 1人1くみ
 ☆毎月の全てよりかえり、○だった児童の数を記入する。

学習	月	日				月	火	水	木	金	合計
		月	火	水	木						
1	1	○	○	○	○						
2	2	○	○	○	○						
3	3	○	○	○	○						
4	4	○	○	○	○						
5	5	○	○	○	○						
6	6	○	○	○	○						
7	7	○	○	○	○						
8	8	○	○	○	○						
9	9	○	○	○	○						
10	10	○	○	○	○						
合計											

・年度初めに学習の7か条、あいさつ、言葉遣い等をカードでチェックし、十分にできていない項目について重点的に指導することができた。

5月 健康力アップパート1(保体指導部)

～目標を決めて体力アップを目指そう～

・持久走・徒競走の目標を設定して、記録更新に向け意欲的に取り組むことができた。
 ・「うまくきたえて」を活用し、感染症に負けない体作りを呼びかけた。

6月 実行力アップパート1(生徒指導部)

～返事・あいさつ日本～



・「自分からあいさつ」ポイントカードを活用し、自分から進んであいさつができるよう意識付けることができた。
 ・あいさつ100ポイント達成で自分の顔写真にリボンを貼ったことで、自主的なあいさつの意識がさらに高まった。

☆各学年のふるさとキャリア教育

- 1年: 学校をたんけんしよう
- 2年: まちたんけん
- 3年: とんぶり育て隊
(種まき・苗植え・草取り・収穫)
- 4年: とんぶり広め隊
(レシピ開発・とんぶり販売等)
- 5年: われら東館ふるさと探検隊
(ふるさと探検, 田植え等)
- 6年: 十狐マイスター
(しいたけ植菌)



4年 とんぶり広め隊

ア 児童の状況

VI 保護者・地域との連携

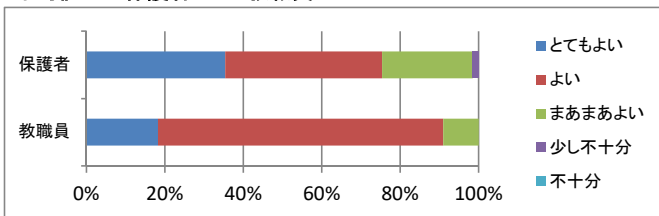
評価項目	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
学校の取り組みが分かりやすく保護者や地域に伝えられ、地域の教育力が有効に活用されている。	前期	良好	
	後期		
学自 校己 の評 改価 善の 策概 要と	<p>【前期(→後期)】(19)の情報発信、(21)の地域の効果的な活用は、保護者・教職員の評価が共に4を上回り良好な状態である。今後もより充実した情報発信、より積極的な地域素材・人材の活用を図ってきたい。(20)は、教師の自己評価のみであるが、昨年度より大幅に向上していた。これは、昨年度は初めてのコロナ禍でPTA活動等が手探りの状態であったが、今年度は、同じ状況下でも家庭教育学級をはじめPTAの諸会合等が計画的に実施できているからだと思われる。今後コロナ禍がどのような形で拡散・終息していくか不明であるが、そのときそのときの状況下でできる最大限の保護者・地域との連携を模索していく必要がある。</p> <p>【後期(一次年度)】</p>		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	後期
12 情報の受発信	(19)学校の様子が伝わる情報発信	魅力ある学校報・学年通信・ホームページ・ブログ等による情報の発信	4	
	(20)保護者・地域からの情報収集	PTA諸会合 家庭訪問 個人面談 保護者アンケート 学校評議員会等の開催	4	
13 地域の教育力の活用	(21)地域素材や人材の効果的な活用	地域学習材の活用 体験学習の推進 授業や諸活動でのゲストティーチャーの活用	4	

【評価指標12】

(19)学校の様子が伝わる情報発信

平均値 保護者4.1 教職員4.1

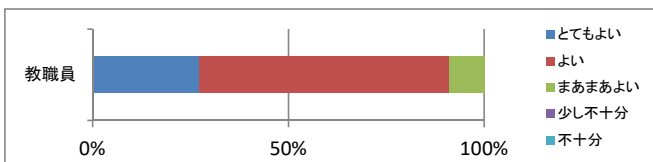


【学校の様子が伝わる情報発信等】

- ①隔週発行の各学級の「学級だより」
- ②毎月末発行の学校報「犀川」の学区全戸配付
- ③ホームページによる学校経営方針等の明示
- ④ブログによる日々の学習活動の紹介
- ⑤新聞記事への掲載 ※掲載は9月まで10回以上 (とんぶりの種蒔き・苗植え、ふるさとクラブ、食育講演会等)
- ⑥テレビ放映 (とんぶり苗植え、全校どんぐり活動)
- ⑦一斉メール配信 (テレビ放映のお知らせ、災害・熊への注意等)

(20)保護者・地域からの情報収集

平均値 教職員4.2



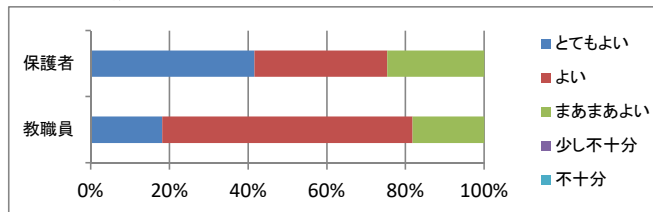
【保護者・地域からの情報収集】

- ①PTA総会・1学期末PTAにおける学級懇談の実施
- ②7月のスポーツ交流会での情報交換
- ③夏季休業中の保護者全員との個人面談 (7/23～7/24)
- ④各学年親子レクでの情報交換
6/18 1年部 検討中 2年部 11月中 3年部
9/11 4年部 7/25 5年部 10/16 6年部

【評価指標13】

(21)地域素材や人材の効果的な活用

平均値 保護者4.2 教職員4.0



【地域素材の活用】

- 総合的な学習の時間
- 3年「目指せ! とんぶりマイスター」…とんぶりの栽培・観察
- 4年「目指せ! とんぶりアンバサダー」…とんぶりレシピの開発
- 5年「われら東館ふるさと探検隊」…東小ドリーム田んぼでの米作り、自然の家での比内地域合同ふれあい体験教室
- 6年「椎茸植菌・収穫」…旧大葛小、大葛地区探検のまとめ
- 体育(運動会)・クラブ…独鈷囃子

【人材の効果的な活用】

- ①正課クラブ～「将棋クラブ」山田勝巳さん、「スポーツクラブ」中田一志さん、ユニカルチームのみなさん、「ふるさとクラブ」神成幸忠さん
- ②椎茸植菌・収穫～角森誠市さん、山本隆仁さん
- ③とんぶり栽培～本間均さん
- ④米作り～田島英一さん、幸子さん
- ⑤交通教室・バスの乗り方教室～独鈷駐在所長、大館警察署の方々、秋北バスの方々
- ⑥避難訓練(不審者対応)～独鈷駐在所長、大館警察署の方々、スクールガードリーダー
- ⑦読み聞かせ～読み聞かせカルテットのみなさん
- ⑧食育指導～比内給食センター栄養教諭
- ⑨ここ☆はハローワーク



PTA家庭教育学級
7.3
管理栄養士田村敦子さんの「食育を通じた健康づくり」の講話を親子で聞いた。

不審者対応避難訓練
7.20

今年度は、休み時間に不審な人がグラウンドに現れたことを想定して実施した。その後警察署主催の防犯教室を実施した。

